

サービス改善計画書

策定日： 2026年1月13日

事業・サービス名： 放課後等デイサービス

施設・事業所名： いまここplus

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
3 生活空間の構造化	A	一部の保護者より、絵カード等の視覚支援の充実を求める意見があり、児童の障害特性に応じた生活空間の構造化（視覚的な分かりやすさ）について、改善が必要な課題として挙げられる。また、活動スペースは十分に確保されているものの、児童の人数や特性の組み合わせによっては、より細やかな動線分離が求められる場面がある。	壁面掲示やスケジュール表等の視覚支援を強化し、児童一人ひとりが見通しを持って自立的に行動できる環境整備を行う。すべての活動室において視覚支援ツールの導入を進め、生活空間の分かりやすさの向上を図ること、環境面における満足度の向上を目標とする。	1年間	鈴木	
17 職員の接遇と支援の質	B	職員の言葉遣いや態度に関して、複数の保護者より不安や不満の声が寄せられており、職員の接遇および支援の質について、事業所として改善が必要な課題として把握している。	職員の接遇および支援の質の向上を目的として、日々の支援における声掛けや関わり方について、職員間での共有や振り返りを行う。あわせて、定期的に接遇に関する意識づけや情報共有を行い、不適切な支援の未然防止および再発防止を図る。これにより、保護者が安心して利用できる支援体制の構築を目標とする。	1年間	鈴木	
23 24 非常災害対策	B	非常災害対策として実施しているものの、その実施状況について保護者への周知が十分とは言えない状況が課題となっている。	防災訓練実施後に、訓練内容や避難手順等をまとめた報告を作成し、アプリや通信等を通じて保護者へ配信する。これにより、非常災害時における安全対策の取り組みを分かりやすく伝え、保護者の安心感の向上を目標とする。	1年間	鈴木	
11 地域との交流	C	地域との交流に関するアンケートにおいて、「いいえ」や「わからない」と回答した保護者が一定数見られ、地域との連携や交流の取り組みについて、十分に認識されていない状況が課題となっている。	地域との交流については、児童の安全確保や事業所運営上の制約を踏まえ、実施可能な方法について継続的に検討する。現在実施している外出活動や日常的な地域資源の活用について、その意義や内容を通信やアプリを通じて保護者に周知する。これにより、地域との関わりについての理解促進を目標とする。	1年間	鈴木	

